

| | |
|---------|--|
| 科目名 | 事例調査・評価方法（1クラス、2クラス） |
| 担当者 | 山田 治徳 |
| 配当学期 | 春学期 |
| 単位 | 2単位 |
| 授業概要 | <p>行政評価や政策評価、政策分析など、行政・政策分野における科学的、合理的な分析に対する関心が高まっています。しかし、科学的、合理的な分析や評価を行うためには、個別の手法について科学的、合理的であることが必要なことはもちろん、これらの手法を科学的、合理的な仕組みの中で用いる必要があります。</p> <p>このような問題意識の下、本講義は、行政や政策をはじめとする社会事象を対象とした調査や研究、評価の仕組みやその特徴、考え方などについて、理解、習得することを目的として行います。具体的には、まずこうした調査の基本を理解し、そして各種のリサーチデザインについて、それぞれの仕組みと特徴を把握します。そのうえで、データ収集のための社会調査手法、そして定量分析、定性分析の特徴と考え方を理解し、各種評価手法についての仕組みや考え方などについて学びます。</p> |
| 授業の到達目標 | 調査研究、分析における考え方や手法について理解したうえで、各種の調査研究や分析を読み解いたり、自ら実際に調査研究を構築、実施できる能力を養成する。 |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. リサーチの基本 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理論と観察 ・ 妥当性、信頼性 2. リサーチデザイン <ul style="list-style-type: none"> ・ リサーチデザインの基本 ・ 実験計画法、擬似実験計画法 3. 社会調査手法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標本調査の技法 ・ 調査票の設計 ・ 標本の抽出 4. 定性分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定量分析との比較 ・ フィールドワークの技法（参与観察、インタビュー） ・ 事例研究（ケーススタディ） |
| 教科書 | 特定の教科書は使用しませんが、毎講義時にレジュメを配付します。また必要に応じ、資料を配布します。 |

| | | |
|--------|--|---|
| 参考文献 | Trochim, W M.K., ” The Research Methods Knowledge Base” , Atomic Dog Publishing, 2001 Monroe, A.D., “Essentials of Political Research” , Westview Press, 2000 高根正昭「創造の方法学」(講談社現代新書、1979年) 今田高俊編「社会学研究法・リアリティの捉え方」(有斐閣、2000年) 谷岡一郎「社会調査のウソ」(文春新書、2000年) | |
| 成績評価方法 | 割合 | 評価基準 |
| | 試験 % | 教場試験 (in-class exam) は行いません。 |
| | レポート 70% | 期末レポートにより行います。評価は授業の到達目標の観点に基づき行います。 |
| | 平常点評価 % | |
| | その他 30% | 出席状況により評価を行います。 したがって、やむなく授業を欠席する場合は必ず申し出て下さい。 |
| 関連 URL | | |
| 備考 | | |